

## シラバス参照

履修年度	2020
担当教員	葛目 知秀
連番	11200003402
曜日・時限・開講期	火曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	(経済学部専門科目)
学年	2年生
単位	2
講義名	国際経済B
開講キャンパス	東松山
備考	<a href="https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html">https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html</a>
最終更新日	2020/02/06 17:15

授業の概要 (Outline of course)	「国際経済B」では国際経済学(International Economics)のうち、外国との金融取引(貨幣取引)を扱っている国際金融論(International Finance)の基礎的な内容を理解することを目標とします。「円高・円安と貿易黒字・貿易赤字はどのような関係にあるのか」、「外国為替レートの水準を決定する要因は何か」、「採用する為替相場制度の違いは経済政策の効果にどのような違いをもたらすのか」といった問題を皆さんと一緒に考えていきます。この授業を通じて、現実の国際金融問題を考える独自の視点を養いましょう。		
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	(1)ミクロ経済学とマクロ経済学の概念・手法を用いて、国際金融の基礎モデルを理解・分析することができる (2)国際金融の基礎モデルを用いて、現実の国際金融問題に対して、自分の意見を述べることができる		
授業の形態 (Course method)	講義形式でおこないますが、時間に余裕があれば、映像資料も使います。		
授業計画 (Class schedule)	回数	授業内容	担当教員
	第1回(Day 1)	ガイダンス:授業内容、授業の進め方、成績評価などについての説明	葛目知秀
	第2回(Day 2)	序章 国際経済学で学ぶこと	葛目知秀
	第3回(Day 3)	第6章 国際収支統計と為替レート(1):国際収支統計/為替レート/外国為替市場	葛目知秀
	第4回(Day 4)	第6章 国際収支統計と為替レート(2):為替相場制度(1)-固定為替相場制/為替相場制度(2)-変動為替相場制/為替レートと経常収支	葛目知秀
	第5回(Day 5)	為替レートの決定理論(1):金利平価説	葛目知秀
	第6回(Day 6)	為替レートの決定理論(2):購買力平価説	葛目知秀
	第7回(Day 7)	特別編/パート1(日本経済新聞の記事を読んで、国際経済問題を考える)	葛目知秀
	第8回(Day 8)	第7章 開放経済下のマクロモデル:財市場(1):開放経済マクロモデル/財市場の均衡	葛目知秀
	第9回(Day 9)	第7章 開放経済下のマクロモデル:財市場(2):財市場の均衡下での国内総生産の決定/IS曲線	葛目知秀

	第10回 (Day 10)	第3章 開放経済下のマクロモデル:貨幣市場(1):貨幣とは/貨幣の供給/貨幣の需要	葛目知秀
	第11回 (Day 11)	第8章 開放経済下のマクロモデル:貨幣市場(2):貨幣市場の均衡/LM曲線	葛目知秀
	第12回 (Day 12)	第9章 開放経済下での財政・金融政策(1):はじめに/国際収支の均衡/BP曲線	葛目知秀
	第13回 (Day 13)	第9章 開放経済下での財政・金融政策(2):開放経済下での経済全体の均衡/固定為替相場	葛目知秀
	第14回 (Day 14)	特別編パート2 (DVDを観て、国際経済問題を考える)	葛目知秀
	第15回 (Day 15)	まとめ	葛目知秀
授業外の学習 (Way of self-study)	受講生の皆さんには、予習よりも復習に力を注いでもらいたいと考えています。そのため、宿題を教回、課す予定です。また、現実の国際金融問題にも言及しますので、日々の新聞やテレビニュースを注意深く見て、自分なりの問題意識を持つように心がけて下さい。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書 (Textbooks)	多和田眞(2010)『コンパクト国際経済学』新世社、1,943円 また、教科書の内容にもとづいたオリジナルプリント(A4サイズ)を配布・使用しますので、それらを整理するためのファイルやバインダーなどを用意して下さい。		
参考文献など (Books for reference)	藤井英次(2014)『コア・テキスト国際金融論(第2版)』新世社、3,190円 P.R.クルーグマン/M.オプストフェルド/マーク・J.メリッツ(著)山形浩生・守岡桜(翻訳)(2017)『クルーグマン国際経済学 理論と政策 原著第10版 下:金融編』丸善出版、5,500円 橋本優子・小川英治・熊本方雄(2019)『国際金融論をつかむ(新版)』有斐閣、2,640円 内閣府『世界経済の潮流』(各号)、1,365円		
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	評価方法	割合	評価基準
	筆記試験	70 %	期末試験(定期試験)をおこないます。
	実技評価	0 %	なし
	レポート評価	30 %	宿題として、数回課す予定です。
	平常点評価	0 %	なし
	その他	0 %	なし
履修上の注意 (Important notes for applying to the course)	「ミクロ経済学Ⅰ」と「マクロ経済学Ⅰ」をしっかり勉強して下さい。 また、前期の「国際経済A」も併せて履修すれば、国際経済学の全体像が分かります。		
連絡先・連絡方法など (Contact information/ way to contact)	授業の前後に、教室または教員控室にて、質問や相談を受け付けます。 メールアドレスは受講生を対象に公開します。		
その他 (Others)	特にありません。		
画像 (image)			
添付ファイル (File)			